

【イベントレポート】アクティブ・シニアが地域社会と交流し、
新しいライフスタイルを創造するための
多目的シェアスペース「WAIKI」が内覧会を開催

～地域のアクティブ・シニアが人生百年時代の住まいを考えるきっかけづくりに～

見守りシステム付きアクティブ・シニア向け賃貸マンション「シニアアップデートマンション”Life Care Suita”」(大阪府吹田市)を運営する株式会社ライフケア・ビジョンは、マンションの入居者が地域と交流できる多目的シェアスペース「WAIKI」をオープンしました。

地域のアクティブ・シニアへのお披露目をかねて、3月27日・28日に内覧会を開催しました。密を避けながら約10組のアクティブ・シニアやそのご家族にご参加いただきました。



▲バーカウンターと開放的なテラス



▲本格的な厨房設備も。

■WAIKI のコンセプトは「Discover Fun」。意欲があれば年齢に関係なく楽しみを発見できます。

WAIKI には厨房設備と開放的なテラスがあり、入居者が自由な時間で趣味の楽しみを持ち、地域の飲食店や習い事サロンのオーナーも、出張講座として入居者向けのイベントを気軽に開催できます。

WAIKI のコンセプトである「Discover Fun」について、新規開発事業部長の近藤量行は、「遊びや楽しみは若年者の特権だけの特権ではありません。意欲があり、環境が整っていれば、年齢に関係なく楽しみは発見でき、そしてあらゆる可能性が生まれます。そんな可能性を実現することが WAIKI のコンセプトです。」

また、人や地域と交流し、楽しみを見つけながら生活することでアクティブ・シニアの健康を維持し、フレイルや認知症予防につなげたいという狙いもあります。



▲WAIKI のコンセプトは Discover Fun

■参加者の声

「こういうところに来たことがないので、びっくりした。見守りのセンサーがいっぱいついていて。のんびり暮らせたらいいですね。」(80代、女性)

「いままで親と同居していたが、現在一人暮らしになり、浴室で倒れたときが心配になってきました。(このマンションでは)安全性があった。」(70代、女性)

「夫婦で暮らしているが、近所にこういうマンションが出来たらいいなあと考えていました。(料金も)手頃な感じ」(60代、男性)

など、アクティブなシニア世代がこれからの暮らしを考えるきっかけづくりとなりました。



▲参加者のご様子

■4月にはファイナンシャルプランナーによるセミナーを WAIKI で開催予定

一方、「自宅の荷物を全部もってくるには収納が足りない」、「持ち家の自宅をまだ手放したくない」という声もありました。この意見を活かして、4月下旬にはファイナンシャルプランナーによるシニア世代の家計のシミュレーションができるセミナーを WAIKI で開催する予定です。

■関連情報

所在地:大阪府吹田市内本町 3-25-16 シニアアップデートマンション Life Care Suita 内

▼シニアアップデートマンションのプレスリリースはこちらから

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000070402.html>

▼WAIKI オープンのプレスリリースはこちらから

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000070402.html>

■会社データ

社名:株式会社ライフケア・ビジョン | 代表者名:祝^{しゆくみね} 良太

設立:2011年7月 | 資本金:900万円

所在地:〒533-0033 大阪市東淀川区東中島 1-18-22

従業員数:600名(2020年10月現在)

事業内容:介護保険サービス、有料老人ホーム運営、高齢者向け給食事業、不動産開発等

■お問い合わせ先

本リリースに関するお問い合わせは、株式会社ライフケア・ビジョン 担当:頭^{とうやま}山・近藤まで

電話:090-6756-3180/06-6160-7088(平日 9-18時)

Email:s.touyama@lifecare-vision.co.jp